

取材先	下関ウォーキング協会		
企画名	市内公園巡りウォーク		
備考			
取材日	2021年3月21日(日)天候[曇り/雨] [ 10:15~12:30 ]	取材地	下関市内公園

レポート

取材当日朝は、前夜からの雨の影響で小雨が降っていました。しかし、集合場所の幡生駅に着くと、すでに参加者の皆さんで、駅舎の中はいっぱいになっていました。参加者は20名。遠くは広島県から参加された方もおられました。

まずは日程説明。今回のコースは、戦場ヶ原公園から一里山公園そして火の山山麓公園を経由してゴールは唐戸の姉妹都市公園です。行程の中にはなだらかな坂道があるとのことで、準備運動もしっかりして、いざ出発です。

戦場ヶ原公園へは、やや急な坂道を登ります。ここは桜の名所ですが、残念ながら一分咲き程度。しかし、桜の木々はうっすらとピンク色に染まっていて、満開の様子が目に浮かびました。戦場ヶ原公園から下って再び坂道を登り一里山公園へ。曇っていなければ海峡タワーやその周辺が一望できる公園です。早咲きの桜を見ながら登り切りました。最後は火の山山麓公園です。ここも坂道。しかし、登り切れば美しい庭園が目の前に広がりました。

下関ウォーキング協会は、日本ウォーキング協会に加盟した県内最初の団体です。現在会員が35名。広島県・北九州市をはじめ、宇部・山陽小野田・長門・美祢市在住の方が、全体の半分近くを占めています。平均年齢は74歳。（今回の参加者の最高齢の方は87歳とのこと。）

「コロナに負けない健康ウォーク」をテーマに、年間28回程度のイベントを企画されています。コースづくりが最も重要ということで、1回のイベントに対して3度の下見を実施。排気ガスの影響の少ない旧道を選び、トイレの場所・休憩場所の位置を確認するなど配慮しているそうです。「足跡以外は（ごみを）残さない」「迷惑をかけない・個人の自由は奪わない（ペースは自分で考える・途中リタイアも自由）」をモットーに、活動に取り組んでいるそうです。

状況写真

